

マイ★本棚を作ろう

「理数大好きモデル地域事業」の一環として、本棚作りを実施します。スギの間伐材^{かんぼうざい}から生まれたキットを使い、オリジナルの絵を付けて、「マイ★本棚」を完成させよう！

日時 12月23日(火・祝)午前10時〜正午

場所 市中央図書館視聴覚室(2階)

講師 都賀剛氏(つくばね森林組 合業務係長・林業技士)

対象 市内に在住の小学生とその保護者※金づちを扱うため、低学年は必ず保護者同伴。

◆往復はがきの記入方法◆

<p>往信 (往信用表面)</p> <p>〒300-1211</p> <p>牛久市柏田町3304-1 牛久市中央図書館 「マイ本棚を作ろう」行</p>	<p>(返信用裏面)</p> <p>※ここは何も書かないでください。</p>
---	--

<p>返信 (返信用表面)</p> <p>申込者の郵便番号 住所 氏名(様)</p>	<p>(往信用裏面)</p> <p>①住所 ②氏名(お子さん) ③年齢(お子さん) ④電話番号 ⑤保護者同伴の場合は保護者氏名 ※1枚につき1人のみ</p>
--	--

定員 20人

用意する物 筆記用具、色鉛筆
参加費 無料※保護者分のキットは付きません。

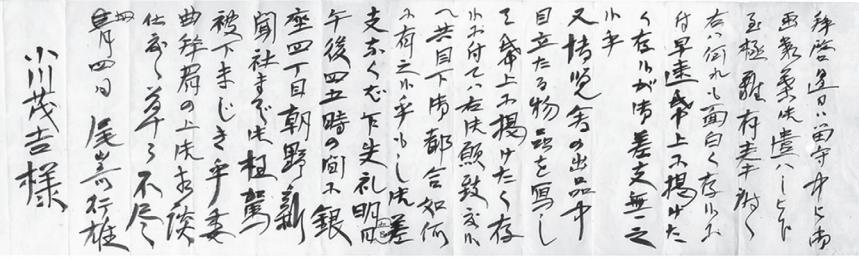
申し込み方法 必要事項(左記の記入方法参照)を明記の上、往復はがき(お子さん1人につき1枚)でお申し込みください。

定員を超えた場合は、12月15日(月)午前10時から市中央図書館会議室で公開抽選を行い、12月17日(水)までに返信はがきでご連絡します。

申込締め切り日 12月14日(日) 必着

問い合わせ 市中央図書館 ☎ 871-1400

画 聖 川 芋 銭



再び芋銭を考える②

前回に引き続き、芋銭年譜中の「通説」について考えます。

明治21年(20年と記すものもある)、芋銭は、政治家・尾崎行雄の薦めで「朝野新聞」の客員(画工)となった。その年の夏、会津の磐梯山大噴火という大事が勃発、芋銭は、「朝野新聞」の特派員として現地に赴き、惨状を写した。芋銭に関する文献には、例外なくこのように書かれています。

この「通説」に疑問を投げ掛ける資料が、小川家の芋銭旧蔵資料中に存在します。芋銭あての尾崎行雄書簡がそれで、内容は以下のように要約されます。

留守中に届けられた芋銭の絵画を新聞紙上に掲載したいがいかがか。また、近々開催される博覧会の会場風景を描いてもらいたい。については、社屋までご足願願いたい。

書簡が書かれた年は不明ですが、(第3回内国勸業)博覧会のこと書かれているので、明治23年と特定することができます。

明治21年に、芋銭が朝野新聞の客員になったとすると、この書簡の丁重極まりない文面や、社屋で会いたいと伝えるとき、社屋の所在地まで明記する必要性があったのだろうか。

芋銭と「朝野新聞」とのかかわりは、この書簡によって始まった、と考えるのが妥当でしょう。

事実、「朝野新聞」を精査してみると、この書簡どおりに、芋銭の作品が掲載されています。

明治21年に「朝野新聞」の客員となるのは、明治23年に改められるべきと思います。

芋銭あて尾崎行雄書簡 (小川未太郎氏蔵)

小川芋銭研究センター 北畠健